
西南支部ニュースレター（50号）

2020年11月30日

<内 容>

1. 2020年度支部例会開催のお知らせ
 2. 日本海洋学会沿岸海洋研究会の共催について
 3. 2020年度支部総会開催のお知らせ
 4. 2020年度支部役員
-

1. 2020年度支部例会開催のお知らせ

2020年度支部例会として、沿岸海洋研究会および水産海洋学会と共催して、以下のとおり、九州沖縄地区合同シンポジウムを開催します。

2020年度 九州沖縄地区合同シンポジウム
(日本海洋学会西南支部・日本海洋学会沿岸海洋研究会・水産海洋学会合同シンポジウム)

「南西諸島近海における大気・海洋・生態系」

共催：日本海洋学会西南支部，日本海洋学会沿岸海洋研究会，水産海洋学会

日時：2020年12月11日（金） 9：30～17：35（受付10：00）

開催方法：現地開催及びZoom上でのオンライン開催のハイブリッド

開催場所：琉球大学50周年記念館多目的室AB（琉球大学南口近く）

コンピーナー：伊藤耕介（琉球大学），秋田雄一（沖縄県水産海洋技術センター），碓氷典久（気象研究所）

<プログラム>

- 10:00 開場
10:30-10:35 挨拶：山下 洋（一般社団法人水産海洋学会長）
10:35-10:40 趣旨説明・事務連絡：伊藤耕介（琉球大学）

セッション1 座長：碓氷典久（気象研究所）

10:40-11:00 日本沿岸海況監視予測システムについて
瀬河孝博・宮内誠司・藤本梨沙（沖縄気象台）

11:00-11:20 数値モデリングによる東シナ海の内部波エネルギーの解析
辻 英一・広瀬直毅（九州大学）

11:20-11:40 【Zoom 講演の可能性あり】長期フェリーADCP 資料から得られた甌海峡の流動分布
四柳仁寿・滝川哲太郎（長崎大学）・櫻井正輝（鹿児島県水産技術開発センター）・広瀬直毅
（九州大学）

一昼休み(日本海洋学会西南支部総会)

セッション2 座長：広瀬直毅（九州大学）

13:00-13:20 海水交換率を基とした海洋温度差発電のポテンシャル再評価
本島太郎・劉天然・広瀬直毅（九州大学）

13:20-13:40 東シナ海海面水温と黒潮変動の関係
碓氷典久・広瀬成章（気象研究所）

13:40-14:00 大気海洋生態系結合モデルにより再現された2018年台風第24号通過に対する海洋応
答
伊藤耕介・山田広幸・栗原晴子・宮田龍太・平野創一郎（琉球大学）・坂本圭・豊田隆寛
（気象研究所）

休憩 14:00-14:10

セッション3 座長：栗原晴子（琉球大学）

14:10-14:30 沖縄県産魚介類に寄生するアニサキスについて
當眞弘・岸本英博（琉球大学）

14:30-14:50 温暖化は亜熱帯の魚にも影響を及ぼすか？
秋田雄一（沖縄県水産海洋技術センター）

14:50-15:10 【Zoom 講演の可能性あり】2020年初夏の東シナ海・南西諸島弧における表層海水中の
植物プランクトン群集構成
山脇信博・筒井英人・鈴木利一・合澤格・保科草太・木下宰・森井康宏（長崎大学）・
R. W. ジョルダン（山形大学）

15:10-15:30 【Zoom 講演の可能性あり】High abundance of Nanipora (Octocorallia:
Helioporacea) at an acidified reef in southern Japan
Iori Mizukami, Haruko Kurihara (Univ. Ryukyus), Timothy Ravasi (OIST), Yoichi Ide
(Oceanic Planning Corp.), Michael Izumiyama (OIST), Hajime Kayanne (Univ. Tokyo),
and James Reimer (Univ. Ryukyus)

休憩 15:30-15:40

セッション4 座長：秋田雄一（沖縄県水産海洋技術センター）

15:40-16:20 【基調講演】八重山海域での異常高水温攪乱とサンゴ群集の変化
中村崇・Mariyam Shidha Afzal（琉球大学）・小島（池田）香奈（海の再生ネットワーク与
論）

16:20-16:40 気候変動に対する熱帯藻場域の被食者-捕食者応答

Vina Listiawati・栗原晴子(琉球大学)

16:40-17:00 苗床環境がオキナワモズクの養殖生産量に与える影響—備瀬崎における産学共同研究成果報告—

佐藤陽一・名越日佳理(理研食品)・伊藤通浩・小西照子・藤村弘行(琉球大学)・Gregory N Nishihara(長崎大学)・田中厚子(琉球大学)

17:00-17:30 総合討論

17:30-17:35 閉会の言葉

【開催趣旨】

南西諸島は、広大な海の中に浮かぶ数多くの島嶼からなる地域である。薩南諸島・沖縄諸島のほか、宮古列島・八重山列島からなる先島諸島、大東諸島、尖閣諸島で構成されており、そのいずれも、周囲を取り囲む海洋に大きな影響を受けている。近海には黒潮が流れており、亜熱帯に位置することから、1年を通じて比較的温暖な気候に恵まれている。また、地域特性として、サンゴ礁や多様な魚種がみられることも特徴のひとつである。島に暮らす人々は古くから海の恵みを得つつ、ときに台風などに伴う極端な気象・海象に苛まれながら生活を営んできた。

近年、地球規模の気候変化が徐々に進行しており、南西諸島近海でも海面水温の上昇や海洋酸性化による悪影響が懸念されている。島嶼部の気温や空気中の水蒸気量は海面水温に鋭敏であるため、将来的には、熱中症患者や豪雨の発生頻度も増えることが予測されている。また、水温の上昇や海洋酸性化が、モズクに代表される藻類や魚類の地理的な分布の変化、養殖業における生産管理の困難さ、サンゴの白化や死滅などを引き起こすため、南西諸島近海における生態系とそれに連なる人間社会は大きな影響を受けると考えられる。

上述の例に代表されるように、南西諸島近海における研究テーマには、大気・海洋・生態系などの諸分野にまたがったものが多い。そこで、各分野の専門家が一堂に会して議論をする場を設けることは、各個人が有益な知見を得て、研究を進展させるために重要だと考えられる。このような背景に鑑み、本シンポジウムでは、研究手法を問わず、この海域における大気・海洋・生態系の各分野の研究、それらの相互作用の研究、及び、基礎研究に関する発表を募集する。この機会が、多くの分野の研究者の交流を促し、南西諸島近海における諸現象の理解やその応用に資することを期待する。なお、新型コロナウイルス感染症対策として、現地参加とオンライン参加の同時開催を予定している。状況によっては、全体をオンライン開催とする等の可能性があることにご留意いただきたい。

問い合わせ先：

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学理学部物質地球科学科(地学系)

伊藤耕介

電話：098-895-8573

E-mail: itokosk@sci.u-ryukyu.ac.jp

2. 2020年度支部総会開催のお知らせ

以下の予定で2020年度の西南支部総会を開催いたしますので、参加くださいますようお願いいたします。

1. 開催場所 現地開催及び Zoom 上でのオンライン開催のハイブリッド
2. 開催日時 2020年12月11日(金) 12:00~13:00 (合同シンポジウムの昼食時)
3. 報告
 - 1) 2020年度事業報告 2) 会計報告 3) その他
4. 議題
 - 1) 2021年度支部役員 2) 2021年度事業計画 3) その他

3. 2020年度支部役員(支部長, 副支部長, 幹事)

支部長: 松野健 (九州大学)
副支部長: 山城徹 (鹿児島大学)
事務担当幹事: 広瀬直毅 (九州大学)
水産海洋学会担当幹事: 滝川哲太郎 (長崎大学)
沿岸海洋研究会幹事: 磯辺篤彦 (九州大学)
令和2年度例会担当幹事: 伊藤耕介 (琉球大学)

後記

今年はずっと新型コロナウイルスに振り回されっぱなしでした。特に西南シンポジウムのコンビーナーの皆様には、たいへんご苦勞をおかけしてしまいました。結局のところ、オンサイトとオンラインの参加者が拮抗する完全なハイブリッドとなりそうで、新しいコロナ時代の学会や研究会開催のあり方として、この方式は一つの目安になりそうな予感もします。集まることができる人だけ現地に来て、難しい人はネットでアクセスする。当たり前といえば当たり前で、どうしてこれが今までできてなかったのかとすら思います。

今年度いっぱい4年間の事務局担当を終え、(12月の総会で選出される)次の方にバトンを渡します。長く続けてきた継続性が西南支部の強みだと思いますので、今後とも過剰な負担にはならない程度に、のんびりとお付き合いのほどよろしくお願ひします。

(事務局: 広瀬直毅)

本ニューズレターに関するご意見や投稿したい情報等がありましたら、下記へお知らせ下さい。

日本海洋学会西南支部事務局
九州大学 応用力学研究所 大気海洋環境研究センター (広瀬直毅)
〒816-8580 春日市春日公園6-1
電話: 092-583-7492 Fax: 092-583-7492
E-mail: hirose@riam.kyushu-u.ac.jp

日本海洋学会西南支部ホームページ
<http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/oed/swb/swb.html>